

平成29年度 第3回さいたま市図書館協議会会議録

開催日時 平成30年3月19日（月） 10時30分～12時10分
開催場所 中央図書館イベントルーム
出席者 (委員)
横内武彦、高橋清子、大井睦、神谷暁美、田中絵里、横田和代、脇本茜、恩田守雄、澁谷知範、宮内則幸、佐藤不二雄、青木洋
(事務局)
利根川中央図書館長、波田野中央図書館副館長、酒井管理課長、内門資料サービス課長、尾崎北浦和図書館長、幸島東浦和図書館長、内山大宮図書館長、水澤大宮西部図書館長、清水春野図書館長、水澤岩槻図書館長、野嶋桜図書館長、長嶋北図書館長、佐藤武蔵浦和図書館長
欠席者 (委員)
志村浩子、森内寿美子、平川充保

公開・非公開の別 公開

傍聴人の数 0人

次第

平成29年度 第3回さいたま市図書館協議会会議

開催日時 平成30年3月19日（月）

10時30分～

開催場所 中央図書館イベントルーム

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について
- (2) さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容（平成30年度）について
- (3) 平成30年度図書館評価の目標、指標、及び目標値について

3 その他

4 閉 会

1 開会	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の確認 ・協議会委員の出欠確認 	
2 議題	
(1) 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について	
横内委員長	<p>それではただいまより、平成29年度第3回さいたま市図書館協議会の議事に入ります。</p> <p>議題(1)「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について、説明をお願いします。</p>
北図書館長	<p>さいたま市図書館ではさいたま市図書館ビジョンの取組内容の「図書館評価と市民意識の反映」の中で「図書館サービスの充実、向上を図るため、図書館の利用に関するアンケートを実施します」となっており、このアンケートは利用実態及び利用者への満足度を把握し、事業計画等に反映させ、サービス向上のための基礎資料とすることを目的に来館された利用者を対象に年1回実施しているものです。</p> <p>アンケートの実施は平成22年度、中央図書館1館より始まり、平成23年度は中央図書館と拠点館、平成24年度から全館での実施としており、今年度で8回目の実施となっております。</p> <p>それでは、お手元にお配りしています「平成29年度さいたま市図書館の利用に関するアンケート集計結果 報告書」を基にご報告させていただきます。まず、2ページの調査の概要ですが、「1 調査の目的」は、先ほど申し上げたとおり、利用実態及び利用者への満足度を把握し、事業計画等に反映させ、サービス向上の基礎資料とすることを目的としております。「3 調査の場所」ですが、分館を含む図書館全館が原則でございますが、今年度は北浦和図書館、東浦和図書館、岩槻図書館、三橋分館が図書館施設リフレッシュ計画による修繕のため、休館としておりましたので、4図書館を除く21館での実施となりました。「4 調査報告」は、前年度同様、図書館来館者の無記名による自主記入で、回収箱への投函による回収とさせていただきます。「5 調査期間」は開館日で10日間、平成29年9月14日木曜日から平成29年9月24日日曜日にかけておこないました。前年度同様、時期も同じでございます。ちなみに前年は、9月15日から9月25日まででした。曜日は同じです。「6 回収結果」としましては、期間中の入館者は203,721人で回収件数は4,138件です。「7 調査項目」は、昨年同様、8問といたしまして、問1から問5までは年齢や利用頻度、利用状況など基本的な項目として定点調査的に質問をさせていただき、統計的な収集項目として、毎年継続的に質問項目に取り入れております。問6は毎年違った視点で質問を設定させていただいておまして、今回は情報発信の受信媒体についての質問をさせていただきました。問7は図書館サービスの内容としております。問8は自由記入となっております。</p> <p>それでは、6ページからそれぞれの集計分析を説明いたします。まず、6ペー</p>

ジの「あなたの年齢についてお尋ねします」でございますが、回答者の割合は70歳代が22.4%で最も多く、次いで60歳代以上が21.5%、40歳代17.8%、50歳代15.0%、30歳代9.6%、10歳代5.4%、10歳未満5.4%、最も少ない年代は20歳代2.9%でした。40歳代以上の方で全体の4分の3を占めております。

次に8ページですが、「図書館をどれくらい利用しますか」という設問でございます。全体としては「2週に1回」が39.9%、「週1～2回」と合計すると75.5%です。回答者の多くの方が貸出期間を意識して利用していると考えられます。

次に11ページですが、「図書館の滞在時間はどれくらいですか」という設問です。全体でみると85.0%の方が「1時間以内」と回答しています。10歳代、20歳代は他の年代と比べますと「1時間以上」の割合が高く10歳代では30.0%となっています。

次に14ページですが、「図書館をどのように利用されますか」という設問でございますが、「よく利用する」「たまに利用する」を合わせると全体の79.9%の方が「本・雑誌・CD等を借りる」として利用しています。「館内で本・雑誌・新聞等を読む」「図書館の資料で調べものをする」についても、「よく利用する」「たまに利用する」がそれぞれ72.5%、64.6%となっており、多くの方が資料の利用を目的として来館されていることがわかります。

次に15ページですが、「利用いただいた感想をお尋ねします」という設問で、全ての項目の総合で「満足」と「やや満足」を合わせると、80%以上で昨年と変わらない結果となっております。特に「職員の対応や説明」については、97%となっております。このことから図書館の利用については概ね満足していただいていると考えております。「目的の本や雑誌・CD等の探しやすさ」については「やや不満」「不満」が他の項目と比べて高くなっております。

次に16ページの間6「図書館はいろいろな方法で情報を発信しています。あなたは今後どのメディアで図書館の情報を得たいと思いますか。」ですが、最も多かったのは「図書館ホームページ」でした。次に「市報さいたま」です。ホームページをはじめとした幅広い媒体を活用し、情報発信をさらに充実させていく必要があります。

次に17ページの間7「今後、力を入れて欲しい取組について伺います」です。「所蔵資料の量の充実」1,899件、「所蔵資料の質の充実」1,059件、「予約・リクエストサービスの充実」1,049件のご意見が集まりました。このことから、効果的、計画的に資料を収集、保存し、幅広い蔵書を整備することが必要とされていると思います。

最後に18ページの間8「その他、ご意見がありましたらご記入ください」です。この間8の設問には合計1,737件のご意見をいただきました。内訳としましては「1資料の質や量について」443件、「2講座・おはなし会について」25件、「3施設・設備について」401件、「4図書館のホームペー

	<p>ジについて」39件、「5図書館のサービスについて」366件、「6職員・スタッフについて」149件、「7利用者のマナーについて」76件、「8その他の意見」238件です。詳しい内訳につきましては報告書をご確認ください。</p> <p>続きまして、24ページ以降の説明に移ります。24ページから43ページにおきましては、図書館別集計結果を載せてあります。図書館のサービスに関してお尋ねしました問4、問5、問6、問7について図書館別に集計しました。</p> <p>次に44ページから52ページですが、経年比較結果を載せております。図書館のサービスに関してお尋ねした設問のうち、毎年お尋ねしている問4、問5、問7につきましては、平成27年度から29年度の結果を経年比較しております。</p> <p>最後に54ページですが、「さいたま市図書館の取組について」ということで、資料の質や量の充実、施設修繕、電子書籍のそれぞれにつきまして来年度実施する取組についてご報告させていただいております。</p> <p>また、今年度のアンケートの公表につきましては、平成30年1月11日木曜日から2月4日日曜日の1ヶ月の間、全館で館内掲示しましたことと、ホームページにおいても公表いたしました。</p> <p>今後も継続的にアンケートを実施していくことで利用者の皆様のご要望を把握し、今後の図書館運営に反映させてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果についてのご報告とさせていただきます。</p>
横内委員長	<p>ありがとうございました。議題（1）「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について説明が終わりました。何か質問やご意見がありましたらお願いします。</p>
恩田委員	<p>3つほどあるのですが、報告書の2ページのところで、全体の回収の数が4,138件とのことですが、この調査期間中に来館した20万という数に対して、回収率が2%ということですので、少し低いなと思ったのですが、例年これくらいの回収件数なのでしょうか。</p> <p>それから2つ目は14ページ以降のところ、図書館の利用についての質問なのですが、属性と言いますか、年齢別にどう利用されているのかということで、これは問5とも共通なのですが、満足度と利用する頻度を聞いているのですが、10代の場合ですね、勉強するのか1時間から3時間の利用が多いとなっています。60歳以上の方はほぼ毎日来ているという結果が出ていますので、その辺の年齢、そして性別のデータがあるとさらにきめ細かいニーズに対応できるのではないかと思います。専門的にはクロス集計と言いますが、そう難しいことではないと思います。全体のニーズはわかるのですが、もう少しきめ細かく見ていく必要があるのかなと思います。</p> <p>それから、3つ目ですが、18ページ以降の自由回答のところですが、1の(5)、「新刊図書の購入希望」が、かなりニーズがあります。大手出版社が新刊本の貸出を1年間猶予して欲しいというようなことを言っているようです。</p>

	<p>が、私は必ずしも図書館が購入を阻害しているとは思いません。全国的な図書館の事情というのは大変なボリュームがありますし、それからよく読まれるものは複数冊入れている場合もありますのでね、少し違いがあるように思いますが、この辺のニーズをもう少し汲んでいただきたいなと思います。実際読んで、感銘を受けて、「いいな」という本は手元に置いておきたいということで、そこからさらに購買意欲が出てくると思うのです。</p> <p>それから20ページのところ、5の(5)「予約・リクエスト」のところです。私も随分図書館へリクエストさせていただきました。今、紙媒体でリクエストしているのですが、リクエストの基準、規約と言いますか、これが少し曖昧な気がします。あと、この中で関連する項目もあると思うのですが、ネットですとね、リクエストできるようにするとかですね、今のホームページではどうなのでしょう。私がよく見ていないということなのでしょう。リクエストする場合は各図書館で、紙媒体でリクエストすることになっていると思います。以上、3点です。よろしくお願いします。</p>
北図書館長	<p>まず1点目のアンケートの件数の結果ですが、昨年度は来館者数が221,747人のうち、回収の件数が、3,765件でした。この結果を見まして今年度、回収件数をもう少し増やせないかということで、各図書館で努力していただいたと思っております。昨年度は館によってばらつきがありまして、100件以下のところが9館ございました。今年度、100件以下は大久保東分館だけでした。目標を各館100件以上ということで各館努力をお願いしたところ。休館の事情もございましたが、回収件数が増えておりますので、努力したのかなと思います。</p> <p>次に年齢別のデータですが、「図書館をどのように利用されますか」について、そして次の項目も資料として持っております。ページ数が多くなってしまうので公表はしておりませんが、データとしては持っています。年齢を対象として集計は可能です。</p>
恩田委員	<p>今の年齢別のデータというのは問6、問7もあるのでしょうか。これは単純集計になっているのですが。</p>
北図書館長	<p>設問で年齢層を聞いていますので、年齢別のデータは持っております。集計することは可能です。</p>
資料サービス課長	<p>リクエストを紙媒体でしか受けられないというのは、書誌情報がですね、買ってない本については図書館のシステムに載らないので現在は紙媒体に限らせていただいているということです。リクエストの規約が曖昧ではないかということですが、図書館の選定基準に基づいた受付をしておりますので、資料選定基準をご覧になっていただくとよいかと思います。</p>
恩田委員	<p>選定基準というのはどこに出ているのでしょうか。</p>
資料サービス課長	<p>図書館要覧の後ろの方に例規集を載せていますので、そちらをご覧ください。</p>

恩田委員	わかりました。ありがとうございました。
宮内委員	こういうアンケートは集計した結果をどう活用するかというのは難しいと思いますが、まず1件、回収件数のことですが、少しは改善したということで大変いいことだと思います。少し気になったことが、中央図書館が213件でして、回収率が0.4%なのですね。一方で岩槻は5%あるのですよ。この差は为什么呢。
北図書館長	一概には言えませんが、図書館によって大きいところ小さいところがあり、サービスの仕方が多少違いかと思いますが、中央図書館では来館者が多いが回収の件数が低いということは、それだけの方が満足しているというふうに把握させていただいています。だからと言って岩槻が満足されていないというわけではないと思うのですけれども。小さいところだと、きめ細かなサービスで、アンケートをお願いすると回収の件数も上がるという傾向がございますので、その点の差が大きく出てしまったのではないかと考えております。
宮内委員	今のご回答は中央図書館の来館者の方は結構満足されているからアンケートもあまり書かないのではないかとということですか。
北図書館長	それも一つの要因だと思っております。それ以外の要因について、今答えられるかという、原因はわからないという状況です。
宮内委員	中央図書館のアンケートは何カ所やりましたか。
北図書館長	アンケートの回収場所は1カ所です。
宮内委員	中央図書館は、青のエレベーター側には置きましたか。
北図書館長	アンケートの回収場所は各館1カ所で統一させてもらっています。
宮内委員	回収件数が高まれば色々な答えも出てくると思うのですが、中央図書館の場合でしたら、入口が2つあるのですから、あるいは、入口の利用頻度を把握されているかわかりませんが、入口から動線が一本道ではないですよ。アンケートを知らずに帰ってしまうケースだってあるかもしれない。今後、数値を上げていくためには何か必要かなと思いますので、ご配慮をお願いします。 それと、もう1点。ちょっと気になったのが、18ページの1の(2)「蔵書の質について」ですが、「本が古すぎる」「専門書の充実」というのがあるのですが、これは館の違いが出てきているような気がするのです。これは、数値把握はされているのでしょうか。
北図書館長	各館での集計、把握とのことですが、まず各館で集計をしております。ですので、各館ごとでの把握はしております。それを合計してこの報告書を作成しておりますので、把握はできます。
宮内委員	これ、各館のばらつきがあると思いますので、よく見ていただけたらと思います。 19ページのところで「移転反対」4件というのがあるのですが、これはどこですか。
北図書館長	移転については今、大宮図書館しか予定がありませんので、それについての

	反対だと思います。
宮内委員	わかりました。では、図書館は少なくともこれを把握しているということではないでしょうか。
北図書館長	はい。
宮内委員	最後、もう一つだけ確認させてください。電子書籍のことですが、平成28年度から電子書籍を入れましたと、電子書籍の利用に関してアンケートは取られないのか、今後取る予定があるのか、教えていただけますか。
北図書館長	昨年度、ホームページのリニューアルに併せて電子書籍についてのアンケートを取っております。「利用している」「知らなかった」などです。毎年恒常にアンケートを取る予定は今のところありません。
宮内委員	アンケートはある意味告知もあるわけだから電子書籍を知らない利用者も結構おられますから、アンケートに項目があるだけで気付きがあるので、そういうのもうまくお使いになればと思っています。
大井委員	<p>16ページの情報発信の方法ですけれども、今の時代ですからホームページをご覧になるという方が一番多いわけですね。次が市報さいたまということで、ホームページはますます充実を図っていただければありがたいと思いますが、ホームページはそもそも図書館に興味がある方は見ますけれども、そうでない方はスルーしますよね、きっと。私の印象ですと、市報さいたまの図書館の情報が寂しいなという気がします。開ければ図書館に興味がある人、ない人も目に入るという形で、いわゆる立て看板のように興味がなくても歩いていけば目に入るという、そのように市報さいたまにもう少し図書館のページを充実させていただきたいと思っています。</p> <p>それと、気になりましたのは、20ページの5の(5)「予約・リクエスト」のところですが、「リクエストしづらい」とありますが、これはどういうふうに理解したらよろしいでしょうか。リクエストの仕方がわからないという方でしょうか、それとも面倒くさいということでしょうか。あるいはリクエストサービスがあるのを知らないということか。また、21ページの(9)「サービス全般・その他」に「市外図書館等との連携」がありますが、もっとして欲しいというものなのか、それとも連携のシステムを知らないということなのでしょうか。これはどのように読んだらいいのか教えてください。</p>
資料サービス課長	<p>リクエストについてですが、システムで予約はできるけれどもリクエストはできないということで「しづらい」という回答が来ているのではないかと思います。</p> <p>市報への掲載については、広報の方で紙面がすでに決められておまして、なかなか難しいのですが、来年度につきましては、特集ページへ図書館記事の掲載のエントリーはしておりますが、それが採用されるかはわかりません。</p>
大井委員	期待してお待ちしております。
北図書館長	市外図書館等との連携ですが、本の貸し借り、相互貸借と言いますが、それ

	<p>をやっております。それ以外の連携ということではないかと思ひます。それ以上の連携となりますと、同じ市外の図書館でも貸せる本、貸せない本が結構厳しく決まっておりますので、もっと連携を取って貸して欲しいという意見ではないかと思ひます。</p>
澁谷委員	<p>1点だけ質問させていただきます。16ページの情報発信についてです。これは情報発信の手段についての質問ですが、そもそも市民の方々はどういう情報を受けたいと思ひているのかということに着目した調査をされたことがあるのか、お伺ひしたいのですが。来館者、すでに来て居る方に対して、マナー啓発をするだとか、プログラムがありますとか、臨時の休館がありますというお知らせも情報発信の一つだと思ひますし、図書館を利用したことがない方に対して、例えば体育館や公民館を利用している方に少しでも新しく図書館に足を運んでもらおうとしたら、告知方法の手段は目的に応じて最適なものが決まってくるのかと思ひます。目的と手段はセットで考えるのが望ましいと思ひます。そのための調査もふさわしいものがあるのではないかと思ひます。そのような観点から目的のところ、すでに把握しているものがあるかお伺ひしたいです。</p>
資料サービス課長	<p>年代別に考えていますのは、電子書籍サービスについて、市内の高校や中学校にポスターを配ったりしています。各チラシについては各拠点図書館が地域の色々な場所にチラシ配布をお願いしているのです、コミュニティセンターですとか、公民館ですとか、小中学校にも配布しています。あと、自治会をお願いしている場合もあります。PR手段につきましても、色々な媒体を使用しておりますが、子どもたちを集めたいときは小中学校、幼稚園、保育園などにも配り物はしております。もしかして一番弱いのは一般の利用者なのかなと思ひますが、それで昨年新しく始めたのはツイッターでして、各図書館の色々な案内を流せるようにしたので、図書館に来ていない人にも情報が届くようにしております。ただ、どういふ方が見ているかというのは把握が難しいと感じて居ます。</p>
澁谷委員	<p>私の質問が適切じゃなかったかもしれませんが、利用者側ではどういふ情報を受けたいのかということアンケートとかですくい取ればいふのかなと思ひました。こちら側から情報を伝えたいという思ひで、色々な手段を新たに考えられるということは今お話しを伺って理解いたしました。送り手と受け手のニーズがマッチした方がより良い効果が出ると思ひます。受け手の方はどういふ情報をもりたいのか、ブックリストを受けたいのか、マナー啓発をして欲しいのかですね、そういう利用者のニーズはどうかという調査をされていれば伺ひたいと思ひました。そうでなければ、今後そういうところを含めていただけたらと思ひます。</p>
資料サービス課長	<p>参考にさせていただきます。私たちはどうしても発信側の気持ちになつてしまうので、受け手が何を望むかを考えているつもりではありますが、乖離はしているかもしれません。</p>

宮内委員	それを考えないと発信できないですよ。
資料サービス課長	はい。そこが一番難しいところだと思います。ありがとうございます。
宮内委員	6ページの年齢別についてお聞きしたいのですが。こういうようなアンケートは政令指定都市の図書館の数字はありますか。図書館は60歳以上の方の利用が多くなっています。定年後の方はよく図書館に行っています。同じ年代の私の友人は、図書館はこの年代が多くてちょっと抵抗があると、そういう声がありますが、図書館はどう認識されていますか。悪いと言っているわけではないですよ。
北図書館長	他の都市については把握しておりません。 年代については、高齢になるにつれて回答数が多いという状況でございます。私も図書館が逃げ場になるということを知ったことがございます。ですので、逃げ場というわけではありませんが、簡単にちょっと遊びに来るという感覚なのかもしれません。そういう方の把握も必要であれば、アンケートをどういう形でやるかは今言えませんが、やっていかないとこれからの図書館業務に影響するのかなと思います。
脇本委員	感想を言わせてください。2ページに21館の図書館が載ってまして、私はほとんど全部行ったことがあって、この図書館はこんなだと想い描きながら見てまして、立地や客層も使用目的も様々で、例えば、中央図書館や武蔵浦和図書館でしたら、電車に乗って通る方が多いとか、その反面、大久保東分館でしたら車や徒歩で来る方の滞在が多いと思います。図書館の個性みたいなものがあるので、回収件数をどこの館も100件以上にしようというのは素晴らしいことだとは思いますが、そもそも個性が全然違う図書館だと思うので、もっと個性を出して欲しいなと思います。私は協議会に参加しているのですが、こういう図書館だよなということがわかりますが、一般の市民の方は多分、金太郎あめのように感じていると思います。どの図書館も場所が違うだけで同じような目的のもとにあるかと思っていますが、実は存在意義が違うので、それぞれの個性を活かして欲しいなと思いました。それと、アンケートを回答してくれる方はそもそも協力的な方なので、アンケートを見ても書かない、気付いてもいないという方の意見も気になるなと思いました。
2 議題	
(2) さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容（平成30年度）について	
横内委員長	それでは、次に移ります。さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容（平成30年度）について、説明をお願いします。
桜図書館長	さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容（平成30年度）は、さいたま市図書館ビジョン実施計画で年度別に工程を示しておりまして、それを踏まえて作成しております。その後、予算要求を行っていくために館長会議などで一旦まとめたものを周知しまして、さらに検討を加えてまいりました。また、先ほどのさいたま市図書館の利用に関するアンケートの集計結果を踏まえて、ま

とめたものでございます。

個別にご覧いただきますと、1の(1)の2項目にSNSやホームページのことがPRの手段として有効であると考えているということで載せております。続いて、資料に関してですが、1の(2)で、幅広く計画的な資料の収集・保存が求められているということがアンケートからわかったところですので、それをこの取組みに分け書いてあります。また、資料が古いという意見があったということがありましたので、特に資料の質や汚れたり内容が古くなったりした資料の買換えも必要に応じて行うということで、具体的に記述があるわけではありませんが、館長会議などではそういう内容が含まれているということで説明しています。

電子書籍のことですが、これも「電子書籍の利用を促進させるため、実態調査を行うとともに、資料を充実させていきます」と書いてありますが、どの年代の方が借りているという分析はできないのですが、この書籍については何回利用されたかということは自動的にカウントしているわけです。今後、永久に図書館資料として購入しているわけではないので、入替えをしておく必要があります。まして、人気があるものについて買っていくというのがありますので、ご利用の状況を踏まえまして定期的に購入を増やしていくなどしていきます。

3ページ目になりますが、「誰もが安心して使える図書館」ということで、アンケートの結果からマナー啓発ということが求められていることがわかりましたので、「図書館利用者アンケートを参考に、マナー啓発を行うなど、誰もが気持ちよく利用できるよう読書環境を向上させます」と書かせていただきました。具体的には何をするかと言いますと、みなさんが危険な状態にならないよう、不愉快な思いをしないように職員が館内を定期的に巡回しております。何かお声がけいただいたり、また、お声がけしたりしまして、その際にマナー啓発と申しますか、お声がけをさせていただいております。それに加えて、ポスターの掲示も行っていきたいということです。その他にアンケートの中には、駅に返却ポストを設置するとか、市報を10区分まとめて置いて欲しいとか細かいご要望もありましたので、こういったことは各館でできるところから順次、すでに始めているところもありますけれども、行っていきたいということでここに記述してあります。

4ページ目にありますが、「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」等に基づき、与野南図書館、大宮東図書館の改修工事、大宮西部図書館のエレベーター更新工事、南浦和図書館の外壁及びエレベーターの修繕工事を行います」ということで、金曜日まで議会が開会しておりましたが、ここで来年度の予算が議決されましたので、これを実施させていただきます。

特に来年度に向けてこれを真新しくやるものとしては、1ページ目(4)の4項目に「来館しなくても利用できるサービスとして、インターネットを利用した音楽配信サービスを導入します」ということで、これを行ってまいります。説明は以上です。

<p>澁谷委員</p>	<p>情報通信技術とマナー啓発といったところですが、先ほどの広報にかかわるところだと思うのですが、紙媒体とかポスターを掲示しますという従来のやり方ではなかなか響きづらいところがあるのかなと思います。例えば、一例ですが、デジタルサイネージみたいな、もしかしたら他の館で取り入れられているかもしれないのですが、電子配信するようなかたちですとより目に留まる可能性が高まってくるのかなと思いました。中央図書館を利用させていただくときに長蛇の列ができるカウンターのところパネルとかディスプレイを置けばですね、動線の途中にあるポスターよりはとても目に留まりますし、エレベーターがなかなか来ないときにパネルがあれば、こういう本もあるんだとかこういうお話し会があるんだなど共有いただけたら、待ち時間もより快適になりますし、図書館の情報もどんどん入ってくるのかなと思います。デジタル技術の活用として情報告知の中でデジタルサイネージのようなものを公共施設によく入っていると思いますし、図書館にも良いのかなと思います。そういったところをお伺いしたいです。</p>
<p>桜図書館長</p>	<p>デジタルサイネージですと、施設の面でもなかなか難しいと思いますので、今後の参考にさせていただきます。やはり、長蛇の列があるところにご覧いただくようにするというので、できることとしては、一番長く列ができるであろう中央図書館でチラシをお配りするということならできなくはないかなと考えます。今後の参考にさせていただいて、どのようにするのか決めていきたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>今の件と関係するのですが、中央図書館でエレベーターがなかなか来ないということがあります。今までは、自動ドアの横にいわゆる広報のチラシのボードがあったのですが、今は中に入っていますよね。今まで私はエレベーターが来るまでは、そのチラシを見る機会があったのです。ごく触れやすいところにあったものをずらされたということで私は気になっていました。すみません、個人的な意見ですので構いませんが。言いたかったのは、3ページ目、(16)「地域の特色を生かした運営」なのですが、浦和駅が改装されて、レッズのコーナーがすごく人気を呼んでいるとみなさん聞いていらっしゃると思います。歩いてみると赤いレッズストリートができておりますが、面白いと思うのですよ。例えば、中央図書館に赤いコーナーがあって、レッズ関係だけでなくサッカーのルールであったりですね、色々なしかけができるなと思います。ただ、予算の関係もありますからああいうような動くパネルはできないでしょうけれども、何か工夫次第で一時的な展示ではなくて常設展示か何かでできるだろうなと思います。ここに書いてありますけれどもJリーグクラブ等との連携とかありますから、大宮でしたら大宮で構わないのですけれども、もっと違うそれこそ地方の色々な、例えば鳥栖であったり、大阪であったり、札幌であったり、チームは全国にあるわけだから、そういうところをここの浦和の中央図書館で核となってやることによって、この図書館の質がだいぶ変わってくると思います。そういうようなものを是非ですね、一時的な展示ではなくて常設展示、</p>

	<p>もう石井桃子だけでは無理じゃないんですかね。やっぱり石井桃子だけではなくて、レッズ関係のコーナーくらいはちょっと考えた方がいいかなと思いました。どうでしょうか。</p>
桜図書館長	<p>さいたま市の25ある図書館のうち、拠点図書館が10館ですけれども、それぞれの図書館で、桜図書館であれば、川の本を集めたりですとか、桜の木を植えたり、桜区内にサクラソウの自生地があることを踏まえてコーナーが設置されていて、この資料を活用していくような取組みをやっていきます。中央図書館は何でも盛り込んですべての責任を負うというわけではありませんが、市内のあらゆるもの全部を中央図書館に入れるのはちょっと面積的にどうなのだろうと思いました。今、すでに大宮図書館ではアルディージャを中心として他のJリーグのチームの展示を常設・・・</p>
大宮図書館長	<p>時々交換の時期だけやっています。</p>
桜図書館長	<p>北浦和図書館ではちょっと休館しておりましたが、さつまいものコーナーがありますし、うなぎの本も収集しています。先ほど個性とおっしゃっていたのですが、外回りのパッケージが決まっているので、その中でどのような資料を配置して活用していくかというのが、それぞれの図書館でやらせていただいております。先ほどのご意見を中央図書館でやるというのは、検討が大いに必要なことだと思いますが、参考にさせていただきます。ありがとうございます。</p>
東浦和図書館長	<p>東浦和図書館は開館した1997年からサッカーコーナーを設けています。駒場サッカー場に近いことから当時、開設しました。今もレッズとは連携をしまして、レッズの選手やコーチなどからおすすめ本を紹介していただいた冊子を作って、その紹介していただいた本を展示するという、そういうコーナーは常設しております。サッカー雑誌もかなり購入していて、永年保存ということで保管しております。また、緑区にある地区館の美園図書館は、さいたまスタジアムが近いことからサッカーコーナーはないのですが、入口のところに展示スペースがありまして、そちらにレッズの展示をしております。あと、刊行物としましては、先ほど申し上げたレッズの選手などのおすすめ本のリスト以外に「WE READ REDS」というサッカーコーナー通信というものを年に数回発行しておりますので、ぜひ、東浦和図書館もご覧いただけたらと思います。</p> <p>また、さいたまスタジアムでホームゲームがあるときに、さいたま市のテントの中でさいたま市図書館のご案内と東浦和図書館のご案内、それから先ほど申し上げた選手たちが紹介してくださった本を展示することもやっております。30年度もその計画をしておりますので、ご注目いただければと思います。</p>
宮内委員	<p>すばらしい。そういう色々な活動があまりわからないというのが残念で、例えば先ほどから出ていたホームページの中にレッズ本でもサッカー本でもいいのですが、そういうものをクリックしたら繋がるようなかたちにしておけ</p>

	ば、全国でもさいたま市の図書館はこうなんだというのがよくわかると思います。せっかくいい企画しているので。
東浦和図書館長	現在、ホームページの施設の案内のところにサッカーコーナーの説明は載せています。ただ、刊行物として発行したものをPDFでご覧いただくというところまではやっていませんので、今後そのようなことも考えていきたいと思えます。
宮内委員	ありがとうございました。満足しました。
大井委員	3ページに「誰もが安心して使える図書館」という項目がありますが、これは日々、心砕いているものと思います。ただいま紹介いただいた取組は非常に市民としてうれしいと思います。大変だとは思いますが、ぜひ続けていただきたいと思えます。今、全国的にどこの図書館でも問題となっております。全国図書館大会でも分科会ができるくらい認知症の利用者に対する取扱いをどうするかということが非常に問題となっております。つい先月、ある地方の図書館で事例を聞いたところ、うっかりと言っては失礼ですが、つい福祉畑の方と連携したために図書館の利用者である方のプライバシーが危うくなっている、というような事例が珍しくないようです。さいたま市におきましてはそのようことはなかろうと思えますけれども、アンケートにお答えくださった方が、70歳以上が多いことを考えますと、返した、返さない、借りた、借りてない、あるいは他の利用者さんとのトラブルですね、そのあたりの対応について、その方のプライバシーを守りつつ誰もが安心して使える図書館、ぜひ各館です、もし対策がまだでしたら今のうちに統一された対応策を考えられたほうがよろしいのではないかと思います。
資料サービス課長	高齢の方のトラブルは全図書館で増えております。自分が借りたか借りていないか覚えていないということも含めて、短気になられている方もいるので、利用者間のトラブルなど色々なところで認知症対策を急がなければいけないと思っておりますが、どういう方向性でということを決めているものはまだありません。ただ、高齢者対策が必要だということは認識しておりますので色々やっつけていかなければいけないなと感じています。
大井委員	難しいと思えますがよろしくお願ひいたします。
2 議題	
(3) 平成30年度図書館評価の目標、指標、及び目標値について	
横内委員長	それでは、次に移ります。平成30年度図書館評価の目標、指標、及び目標値について説明をお願いします。
大宮図書館長	平成30年度図書館評価の目標、指標、及び目標値について説明いたします。この表の左側の「平成30年度目標」という部分ですが、これについては先ほど申し上げた図書館ビジョンの各基本方針と合致するものとなっております。そしてその基本方針ごとに次の「平成30年度指標」という列にそれぞれの基本方針ごとに目標としているものに対してそれぞれ指標を設定いたものが

No.1からのものになります。そして、その指標についてそれぞれ目標値、あるいは実施という目標を設定しましたが、「平成30年度目標値」という列の部分です。さらに参考として同じ目標値に対して平成29年度の目標値と平成28年度の実績を記載してあります。また、「平成28年度指標別評価」という項目ですが、これは平成28年度の実績に対してどういう評価が行われたかということを示してあります。

今回平成30年度から新しく定めた指標が2つあります。目標⑤「文化事業の開催」のNo.19「講座等の参加人数」、No.21「映画会の参加人数」の2つです。これについては前回の協議会で、行事等で集客を伴う事業を行う際に参加人数を評価の対象にするべきではないかというご意見をいただきまして、検討させていただき、今回採用することにいたしました。

平成28年度の実績の欄にアスタリスクが1つ入っている項目がございますが、これについては平成29年度から採用した指標でございます。平成28年度の実績はまだないものとなります。

それと、平成28年度から継続的に評価を行ってきた指標の中に、指標の趣旨としては同じなのですが、平成30年度から実施目標から数値目標に変更した目標がございます。④「ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実」のNo.17「自動貸出機の整備（整備対象館数）」は整備対象館数を目標値として1館に導入するという目標としています。それから、⑩「施設・整備の充実」のNo.56「施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進（改修館数）」についても図書館施設リフレッシュ計画に基づいて2館行いますので、そのことを数値として盛り込んだものです。

今後、図書館評価の予定としては平成30年度に入りましたら、今回の目標・指標に基づいて評価を行うところですが、それと併せまして平成29年度について4月になりましたら評価を開始し、平成30年度第1回の協議会におきまして、その評価結果を報告させていただく予定です。

恩田委員

不読者の割合について要望と質問です。小中高とあるのですが、大学生の場合はどうなのでしょう。私、大学で教えていますので、気になるのですが。大学生協の調査ですね、1日の読書時間がゼロ、これが50%を超えたという2017年のデータがありました。市立の小中高を対象としていますけれども、なかなか難しいとは思いますが。卒論などでも参考文献も圧倒的に紙媒体ではなくてネット情報が多いですね。調べるという行為自体は減っていないと思っているのです。ただその対象が、紙媒体からネットに移っているということなのですが、しっかりとした骨太の知識を得るためには紙媒体の本というのは必要です。この指標は“子ども”読書活動ということなので、大学生は成人だということで対象とはならないのかもしれませんが、将来的に考慮していただけるといいものになると思います。市立大学がありませんので、なかなか調査は難しいとは思いますが。

質問はですね、それぞれの目標値が出ているのですが、これの積算根拠です

	<p>ね、他のところは大体回数とかでわかるのですが、随分細かく出しておられるのもので。特に高校生のところ、小中学生の3.3%や8.7%に比べて36.0%と高いですね。高校生、大学生になりますとネット情報が多くなりますので多少不読書の割合というのは高めに設定されているのだと思いますが。平成29年度は高校生が38.1%ですが、この数字の根拠はどのようなかなというところが疑問としてありましたので、お聞かせいただきたいと思います。</p>
大宮図書館長	<p>大学生の調査についてご提案をいただきました。今、お話のなかにありましたとおり、小中高は市内に学校がございまして調査を行う手段があるということもあるのですけれども、大学生については、調査の手段がないことありますが、小中高のその次の世代ということであればどのような実態があるのかということを考える必要があるかなと思いますので、今後評価を行う際の課題として捉えさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
資料サービス課長	<p>不読者の割合につきましては、高校生は平成32年度までに31.0%にするという計画を「子ども読書推進計画」で立てておりまして、その段階的に割った結果の数字が来年度の目標値になっております。高校生の不読率の調べ方ですが、市立高校が4校ございまして、その4校で抽出調査を行った結果ということになっております。小中学校の不読率につきましては、昨年から1月に学力調査を全校でやることになりましたので、そこに一緒に入れていただきまして全児童、生徒の中で調査をした結果です。平成32年度までに小学生の不読率を2.6%、中学生の不読率を6.8%にするという目標を掲げておりまして、それを段階的に割った数字を目標値としております。国の「子ども読書推進計画」の第3次計画がありまして、それに基づいた数字をさいたま市としても掲げているところです。</p>
恩田委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
澁谷委員	<p>平成30年度の目標値は、各館で分解されて設定されたものかお伺いしたいのですが。各目標値はどのように積算されたものなのかお伺いしたいです。</p>
大宮図書館長	<p>基本的には各館での積み上げということはありません。全体の実績を見て、全体に対する目標として設定したものになります。</p>
澁谷委員	<p>全体を定めてから各館への展開みたいなことをするとより各館に付随した住民参加の意識だとか自主的な取組みだとかボランティアの人のモチベーションだとかそういうところがより具体的に落とし込まれるのかなと思います。A館はどのくらい頑張ればいいのか、上期と下期で見比べて達成しているのか達成していないのかということをして1年間のマクロで見たいか、せつかくの設定値がもたないかなと思います。より活用すると望ましいのではないかという観点で各館への展開に関してお考えを伺わせていただきたいと思います。</p>
大宮図書館長	<p>これについてはですね、この評価をしている多くの指標等を含んだうえで、半年で1回切って、進捗管理ということでどれくらい数字が積み上がっている</p>

	かということを見てはいます。この部分がまだ満たしていないということであれば全体でこの取組みについては、後半は力を入れましょうといったことを現在行っています。
澁谷委員	ありがとうございます。一言だけ。図書館協議会に私は2回参加させていただいている立場でいいますと、さいたま市という大きな図書館の政策的な場に市民として関わらせていただいて、大変有意義なのですが、私のすぐ身近にある各個別の図書館に対して、そこに独自のものがあってもいいのかなと、一市民として思いました。個別の取組と全体の取組の両方でよい循環が築き上げればよりよいと思いました。
宮内委員	目標値が下がっているものがありますよね。具体的に言うと、No. 4「貸出利用人数」が平成29年度から比べて下がっていますよね。その一方でNo. 3「来館者数」は増やしている、この関係がよくわからないのですが。
大宮図書館長	基本的には平成30年度の指標を設定するにあたって、平成28年度の実績を基にしているのですが、長期休館、臨時休館をする館があるので、その減少分を見込まないと現実に即した目標にならないので、そのあたりを調整した結果がこのように出ているということです。
宮内委員	リニューアルする館を考慮してということですね。逆に言うと平成29年度もリニューアルしている館があるからこういうような結果になっているけれどもというわけですね。
大宮図書館長	そうですね。平成29年度、例えば半年休館した館があれば当然それは通年の開館に戻りますので、その分はきちんと上乗せをするかたちで数字を出しています。その結果、前年度と比べて低くなるものと高くなるものが出てくるといことです。
宮内委員	わかりました。ありがとうございました。
青木委員	先ほどの不読者の定義について教えてください。
資料サービス課長	不読者の定義は調査時点において、直近1ヵ月に1冊も本を読まなかった子どもの割合ということです。
青木委員	私の中学校では朝読書をやっていると前の協議会でもお話したのですが、中学校の会で朝読書をやっていますかと聞いたところ、57校全部やっていると言うのです。そうすると1ヵ月に1冊も読まなかったというのではないのかなと思いました。私の学校もそうですが、他の校長にも聞いたらやりますということなので、こんなに読んでいないかなと、40人いると4人は読んでいないということになりますよね。ちょっとそういうことはないのではないかなと思います。本は読み終わっていないといけないのでしょうか。
資料サービス課長	そういうことはないです。読み始めていればいいです。私たちも調査をしていて小学校も中学校も朝読書をやってらして、必ず読んでいるはずなのに子どもたちが読んでいないと回答するのはなぜなのかと不思議です。今年は1月10日の調査ですので、12月に読みましたかという調査になるわけですけど、

	<p>1冊も読まなかったことはないはずなのになぜこの答えになるのだろうと図書館としてもこの数字はあっているのだろうかといつも考えてしまうのですが。学校が朝読書をやっていて、朝の時間に必ず読んでいる子たちがいるはずですが。ただ、教科書や参考書は除くとしておりますので、もしかすると参考書などを朝読書の時間に読んでいる子がいるのかもしれないと思ったり、色々考えるのですが、逆に学校の現場の方にどうしてこのような数字が出てくるのでしょうかとお尋ねしたくらいです。</p>
青木委員	<p>私も不思議に思って全57校の先生が集まったときに朝読書をやっていますかと聞いたらすべての先生が手を挙げたのもので。</p>
資料サービス課	<p>教育委員会の指導1課の方に朝読書をやっている中学校の数を聞きましたら、3校ほどやっていないというふうに把握していると伺っています。そうするとやっていない学校は数字が高くなってくるのですね。30%近くになっていまして、平均にするとこういう結果になるということがあるかもしれません。</p>
中央図書館長	<p>今の不読率の件ですが、市の調査で読書が好きですかという項目がありまして、読書が好きと答えた子の学力が高いという相関がはっきり出ていますので、子どもたちの不読率はぜひ下げたいと考えておりますが、今言ったように調査をしてしまうとこういう数字が出てきてしまうのですが、ではなぜだろうというところはこれからまた指導1課と連携して調べていきたいと思えます。</p>
青木委員	<p>先ほど私が57校全部と言ったのはきちんと調べたわけではなくて挙手をしてもらってやっていますよということだったので、指導1課の方が正しいと思います。</p>
高橋委員	<p>小学校も朝読書をやっていますよね。あとは、小中学校に司書の方が配置されているので学校図書館も結構整備されています。子どもたちは借りやすいですし、わからなければすぐに司書の方に聞いて対応してくれるということで、結構子どもたちは読んでいます。</p>
横内委員長	<p>ありがとうございました。以上をもちまして本日予定していた議事を終了させていただきます。長時間に渡りご審議いただき、ありがとうございました。では、会議の進行を事務局にお返しします。</p>
4 閉会	
管理課長	<p>横内委員長、ありがとうございました。</p> <p>本日は、委員の皆様方から貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の会議は終了となります。ありがとうございました。</p>